



受験生へ

挫折したかい？

●八月も半分が過ぎた。夏休みを迎えるにあたって、固い決心のもと遠大な計画を立てたキミ！まだ燃えているかい？計画は実行できているかい？成功のイメージはわいてきたかい？

●こうして原稿を書いていると、キミ達の伏し目がちな顔が目につかぶ。まじめなA君も、要領で生きてきたB君も、純情素朴なCさんも：かなりの人がすでに挫折したようだ。七月は何とか乗り切ったが、もうアップアップの人もたくさんいる。この人達も挫折はもう間近。何とかしてやりたいと思う一方で、私は割と冷静に見ていられる。まだまだ甘い。本当の挫折の苦しきなんてこんなもんじゃない。何度も何度も襲ってきて、時には立ち直れない程の痛みを人の心に残す。まだまだ甘い。

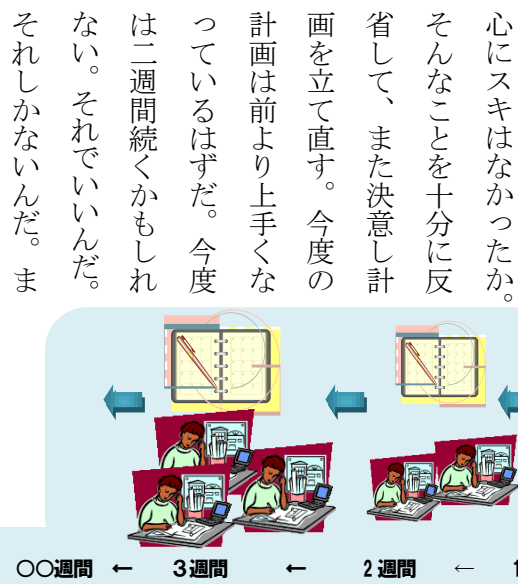
●ところで、何故挫折するか分かるかい？話の根本を言えば、キミ達が受験というハードルを越えようと考え、今までになかった負荷を自分に課し、一種禁欲的な生活に入ったからに他ならない。目標に向かって動き出さなければ、そもそも挫折などあり得ないのだよ。次に挫折を

もたらす個々の要因について言えば、キミ達が受験生としてはあまりに無知(人によっては幼稚)だからだ。情報は驚くほど豊かで、塾・予備校・問題集と学習の道具には恵まれ過ぎているといえる程なのに、肝心のことがわかっていない。つまり、勉強のやり方や心のコントロールの仕方、計画の立て方といったことだ。人によっては、幼稚すぎて受験生にすらなれていなかったりもする。こんな状態での挫折は当然。更に人生の鉄則から言えば、夢と挫折は表裏一体で、古今東西数多の偉人も、受験の先輩も数え切れない程の挫折を経て夢をつかんだのだ。だからキミ達の挫折もこれまた当然。

●だから、だからだ。挫折はしていいんだ。挫折すらできない人は、何も考えていないか、よっぽど運と能力に恵まれているか(そんな人は少数)、動き出す勇気のない臆病者のどれかだ。ただし、肝に銘じておかなければならないことがある。それは、同じような挫折を永遠に繰り返してはならないということだ。挫折する度にきちんと立ち止まって、自分の弱点、欠点をしっかりと見つめる作業をしなければならない。(これを可能とするのが、ほかならぬ勇気であり情熱であり、素直な性格である。)

●具体的な例を挙げて考えよう。A君は、長い時間をかけ、初めて学習計画を立てた。そして一週間続けた後、中断した。これはいいのかわいのか？いいんだ。とにかく一週間続いたのだから。初めて計画を立てたんだから。そして、

ここで勇気を出す。続かなかった原因を探す。計画にムリはなかったか。選んだ問題集が不適切ではなかったか。心にスキはなかったか。そんなことを十分に反省して、また決意し計画を立て直す。今度の計画は前より上手くなっているはずだ。今度は二週間続くかもしれない。それでいいんだ。それしかないんだ。また



た挫折したら？泣けばいい！そしてまた計画を立てる。今度は三週間を目指そうじゃないか！因みに計画を100%達成するのは不可能。70%出来れば大成功と考えてよい。何より、計画を立てなければ、半分もやれないはずだ。

●キミ達は、まだ若い。従って、余りにも経験と知恵に乏しい。当然、人間の心の仕組みについてはあまり知らないはずだ。だからこそ言うのだが、失敗や挫折は、人の心を強くし、新たな出発への知恵を与えてくれるのだよ。一度骨折した部分は逆に強くなるというが、人の心も同じような性質を持っているのだよ。

●再度言おう。挫折はしていいんだ。失敗していいんだ。とにかく勇気をもって立ち向かおう。せっかくもらった生命、その生命を輝かせるキミの心の強さを信じよう。

●それから、情熱についても触れておこう。高三生に「全力を10として今はどれくらいやれているか？」と質問すると、大半が5とか6と答える。中には3と言う生徒もいる。また「部活のがんばりを10とし、今はどれくらい？」と聞けば、やはり5とか6が多い。これは困ったことであるが、希望ともなる。つまりまだまだやれる余地があるということ。(中学生も実は同じだ。)そこで自分に問うてみるとよい。自分は本当に全力でやったことがあるのか？力を出し切ったことがあるのか？キミもあなたも無いはずだ。だったらやってみればよい。伸びる自分の限界までやってみればよい。

●また、私達のアドバイスは素直に受け入れることも実行してもらいたい。例えば勉強法や参考書の選択でいえば、(手前味噌だが)創学舎の講師のアドバイスはかなり正確で適切なものだと思う。ある生徒はきちんと受け止めてくれてきちんとやる。きちんとやるから手応えもある。手応えがあるから続く。続くので心も安定してくる。100%確実というのが無いのが入試だが、心が安定しているのが失敗も少ない。一方しきりにアドバイスを求めるのだが、なかなか自己流から脱却できない生徒もいる。それも明確な方針に基づいていればまだしも、行き当たりばったり。手を広げ過



ざたり、特定の科目に片寄ったり、やったりや
らなかつたり。そう、そこにいるキミのことだ!
八月もまだ半分は残っている。挫折と勇気・情
熱、実行を合言葉に動きませ! (小林(健))

勉強がしたい!

私の父親は転勤が多く、私の家族は全国各地
を転々としてきました。その一つに、宮城県石巻市
があります。私は小学二年から
中学一年までの六年間をこの地
で過ごしました。



私は友人に恵まれ、楽しい日々
を過ごしました。この地で巡り
合った友人Hとは、私が石巻市を離れてからも
こまめに連絡を取り合い、たまに会うようにし
ていました。

去る三月十一日に震災が起きました。石巻市
はマスコミの報道の対象とされ、その被害の一
部は皆さんもよく目にしたことでしょう。報道
されるたびに私は言葉では言い表すことのでき
ない思いを抱えていました。驚愕、呆然、不安、
心配、動揺……様々な思いが頭の中を駆け巡り、
しまいには現実を受け入れられず、これは非現
実世界のことではないかとさえ思うようになり
ました。Hとは連絡がとれず、生存の可能性を
信じる気持ちが少しずつ薄れていました。しか

し、震災から一週間後、ようやく携帯電話がつ
ながら、本人とその家族の無事が確認できまし
た。

Hは自衛隊員で、日々救援活動を行っていま
す。Hによると、我々の友人、知人の中に亡く
なった方や行方不明者が数多くいるそうです。
私は、休みの日に石巻に行つて、微力ながら現
地の人々の力になりたい、そう思いました。し
かし、ある理由でそれをやめてしまいました。
被災地にいる子供たちは、震災後、しばらく
学校に行けなくなりました。学校に行けなくな
つて、そして、学習環境がなくなつてしまつて、
改めてこう思つたそうです。

「勉強がしたい!」

一番したいことは勉強だそうです。普段、当
たり前のように学校や塾に行つて勉強してい
ると、その重要性、必要性はほとんど感じてい
ないことでしょう。しかし、勉強ができなくな
ると、将来に向けて、不安になり、焦り、動揺し、
そして、その後、学習意欲が急激に高まつてき
たのでしょうか。と同時に、今まで当然のように
勉強できたことは幸せなことだったと気づき、
そのような学習環境があつたことに対して感謝
の気持ちが湧いていることと
思っています。

勉強がしたい!



行くことをやめました。この言葉と被災地の子
供たちの心の声を聞いて、私は今自分にできる
ことを真剣に考えました。そして、そこで出し
た結論が次のとおりです。「教育に携わる現在の
仕事の社会的使命の大きさを認識し、現在目の
前にいる一人ひとりの生徒に対して真摯な態度
で接し、責任感のある行動を取る。」

震災から約五ヶ月経ちました。生徒たちの
「勉強がしたい!」という潜在的欲求に応える
ために日々努めているかと自分自身に問いかけ
ながら、この原稿を書いています。(村田)

笑顔

皆さんは誰に「笑顔」を見せていますか?



私事ですが、今年の四月に長女が誕生しまし
た。親バカと言われてしまうかもしれませんが、
とにかく可愛いです。ぐずつた
り、暴れたり、笑ったり、寝て
いたり。産まれてからまだ四か
月も経っていないので、どんな
仕草や動きでも可愛らしいと
思えてしまいます。しかし、その中でも私が最
も可愛いと思えるのは、娘が笑ったときの「笑
顔」です。日頃、仕事で疲れて帰つても、その
笑顔を見れば、疲れなんて一気に吹っ飛びます。
朝、娘の笑顔を見ることができれば、一日頑張
ることができるといふ元気をもらえます。子

の「笑顔」というのは、親にとって凄い存在な
のです。

皆さんのお父さん、お母さんもきっと同じだ
と思います。「友達と遊んで楽しかった」「ご飯
がおいしかった」「部活で頑張つて褒められた」
「テストで良い点をとった」。どんな内容でも、
お父さん、お母さんに「笑顔」を見せれば、お
父さん、お母さんの疲れは一瞬で吹き飛びと思
います。

実は、私達講師にとつても、皆さんの「笑顔」
は凄い力を持っています。同
じように、勉強だけではなく、
日頃の学校の話や部活のこ
となど、笑顔で話してくれる
生徒がいます。その瞬間、私
達はもの凄い力が湧いてきます。そして、私達
にとつて皆さんの一番の笑顔は「志望校に合格
した!」ときの笑顔です。その瞬間、私達の一
年間の疲れは一瞬で吹き飛びます。

皆さんはその凄い力を持った「笑顔」をお父
さんやお母さんだけではなく、私達にも見せて
ください。皆さんがいつも

「笑顔」でいられるよう、
そして高校受験や大学受験
で、とびっきりの笑顔が見
られるよう、私達講師は、
皆さんが創学舎にきてくれ
ている時間を大切にして頑
張ります。(長坂)



▼▲継続希望の方へ▲▼

▶転校等で創学舎を離れた方にも、ご希望
があれば創学舎ニュースを無料で送付致
します。
▶在籍していた教室までご連絡下さい。